

第 64 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ：湿地環境の順応的管理—

8月の研修会は、先月に引き続き湿生生態園の植生管理作業及び、
ホトケドジョウのビオトープ再生を行いました。



猛暑日となった8月の研修会。

参加者数は少なめでしたが、初めての方も来てくれました。



湿生生態園の管理作業からスタートです。多様な植生に戻るよう、繁茂しすぎたヨシを刈っていきます。
せっかく生えてきたアカバナなどの植物を刈ってしまわないように注意して作業を進めます。



ヨシ原のようになっていた湿生生態園が、だいぶ開けてきました。
多様な湿生植物が見られるようになるといいですね。



こちらはセイタカアワダチソウ(左)、キショウブ(右)です。
元々あった里山を保全している谷戸山公園にふさわしくないこれらの外来種は、
これ以上増えないよう、根から除去します。



少し休憩を挟んで、前回までに調査が
終わっていない地点の植生調査を行い、
午前の研修は終了です。



昼食後は、秋に行われる公園のイベントの
ための企画案を話し合いました。



午後は、場所を変えて、湿地環境の再生のための水路整備作業です。
まずはラインを決め、



覆っている植物を取り除き、水路を掘っていきます。



だいたい掘り進んだら、ちゃんと流れができるよう考えながら、水路の底の高さを調整していきます。



今回はここまで掘り進むことが出来ました。
次回、完成する予定です。



最後にまとめと質疑応答などを行い、
今回の研修会は終了です。



今回出会った生きもの達です。左から、マメコガネ、アカタテハ、そして、お腹に卵を抱えたサワガニです。

9月の研修会はビオトープ管理士の試験前でもありますが、試験で出題される生物問題や専門科目等に対応するには、現場の知識も必要です。絶好のフィールドになると思いますので、是非ご参加下さい。